

“也”の位置

相原 茂

0. “也” yě は副詞であり、中国語の副詞は一般に述語の前におかれ、後にある語句を修飾する。文法的に副詞が用言性の語句を修飾すること。つまり状語であるということと、“也”がいかなる成分と意味上の関連をもつかということとは区別されねばならない。

例えばよく引かれる例であるが、

1) 我也喜欢她。

1) は次のような二義性をもつ。

1)' a. 私も彼女が好きだ。〈“也”管“我”〉

b. 私は彼女も好きだ。〈“也”管“她”〉

1)' a のように“也”が主語 NP と意味上関連をもつ場合、〈“也”管“我”〉と言い、1)' b のように目的語 NP と関連をもつと〈“也”管“她”〉などと言うが、今、この“管” guǎn という概念を「取り立て」と仮称しておく。

すると、1)' a は“也”が主語 NP を取り立てると解釈した場合であり、1)' b は“也”が目的語 NP を取り立てると解釈した場合ということになる。主語といい目的語といい、この場合どちらも名詞である。副詞は名詞を修飾することは原則としてないが、意味上、“也”が関連をもち、取り立てるのは名詞性成分であることは注意されるべきである²⁾。

次に1)' a と b のどちらの解釈が第一義的かと言え、これは1)' a, 1)' b の順になる。つまり、文脈によって例文 1) の意味は決定されるのであるが、コンテキスト・フリーで文 1) をみた場合、“也”が直前の NP を取り立てるとする解釈、すなわち 1)' a の方が、後続の目的語 NP を取り立てる解釈、すなわち 1)' b より優先されるということになる。以上、副詞“也”は

i) 用言性語句の前におかれること。

“也”の位置

ii) 意味的には直前の NP を優先的に取り立てる。

の2点を確認したが、本稿はこの2つの条件に配慮を払いつつ、文中における“也”の位置をみてゆく。

1.1 “也”の位置が問題になる一つは次のような場合である。

2) 小王身体很好。

→a. 小张也身体很好。

→b. 小张身体也很好。

3) 昨天天气很好。

→a. 今天也天气很好。

→b. 今天天气也很好。

これが問題になる理由は他にもない。先の条件 i) と ii) による。つまり、「類同」を表す“也”であれば、「意味的には直前の NP を優先的に取り立てる」ことにより、a の位置が選択される。

ところが、a では“也”の直後に名詞である“身体”や“天气”がきている。すなわち条件の i) 「“也”は用言性語句の前におかれること」に抵触し、b の位置が選択される。

a の位置は条件 ii) を顧慮し、b の位置は条件 i) を顧慮したものと言うことができる。

では条件 ii) を顧慮した a と、条件 i) を顧慮した b と、どちらが正しいのであろうか。これは次のような結果になる。(？はその成立にやや疑問のあることを表す)

2) 小王身体很好。

a. ? 小张也身体很好。

b. 小张身体也很好。

3) 昨天天气很好。

a. ? 今天也天气很好。

b. 今天天气也很好。

やはり条件 i) を満たした b の方が正しいと言わざるを得ない。が、a もかな

りの許容度をもつ。話し言葉の中では中国人によっても使われる可能性が高いという。

1.2 次も同様な例であるが、*a*の許容度は2)3)よりもやや劣る。しかし基本的には同タイプと見なせるものである。

4) 他个子很高。

a. ?你也个子很高。

b. 你个子也很高。

5) 阿里汉语水平很高。

a. ?古波也汉语水平很高。

b. 古波汉语水平也很高。

6) 他问题很多。

a. ?你也问题不少。

b. 你问题也不少。

4)~6)を2)3)と区別する顕著な文法的要因はない。敢えて言えば、2)3)のほうが使用頻度が高く常用句であるということぐらいである。

既に察知のように、上で例示したものはすべて主述述語文である。主述述語文であればNP+VPが述語となる。つまり、

$$NP_1 + [NP_2 + VP_2]VP_1$$

のような形をしているわけであるから、NP₁を取り立てようとする、その直後に“也”を置き、

$$NP_1 + 也 + [NP_2 + VP_2]VP_1$$

という形になり、これは結果として、“也”をNP₂の前に置くことになるわけである。つまり条件i)と条件ii)との矛盾、衝突である。これを解消するには、例えば6)を例にとると次のようにするのがよい。

6) 他问题很多。

→*c.* 你的问题也不少。

これを適格とされた6)bと比べてみる。

6) 他问题很多。

→*b.* 你问题也不少。

“也”の位置

6) *c* は 6) *b* に比べ “的” *de* が増えているにすぎない。すなわち, “的” を NP_1 と NP_2 の間に介在させることによって, 二つの名詞を結合させたことになる。この方策により, 当該文は

[NP_1 +的+ NP_2]+也+VP

という形を呈することになり, これは条件 i) と ii) の矛盾の巧みな解消となっている。“也”の後が VP であること, そして“也”の前は“ NP_1 的 NP_2 ”と結合体に変化させたことで, これ全体を“也”による取り立ての対象としている。

“的”による条件 i) ii) の解消は他の例文にも等しく適用可能である。

3) 昨天天气很好。

→*c*. 今天的天气也很好。

4) 他个子很高。

→*c*. 我的个子也很高。

5) 阿里汉语水平很高。

→*c*. 古波的汉语水平也很高。

これら *c* タイプの文は, すべて *a, b* タイプにまさり, 語用論上自然な対話を形成する。

1.3 同じく主述述語文の類型に属するものだが, 以下に示すものは *a, b* 共に文法的である。

7) 她嘴快。

a. 她妹妹也嘴快。

b. 她妹妹嘴也快。

8) 小王口重。

a. 小张也口重。

b. 小张口也重。

a, b の容認可能性の差についてはインフォーマントによりまちまちである。*a*の方が自然だという人, *b*の方が自然だという人, 両者差がないという人がいる。

既に見てきた例と大きく異なるのは, 述語 NP+VP の熟語性である。“嘴快”

(口が軽い、おしゃべりだ)や“口重”(こい味ごのみだ)は辞書にも項目として登上する資格をもつが、“身体好”や“个子高”にはそのような熟語性はない。すなわち、“嘴快/口重”などは単語性が強く、“身体好/个子高”などは単語性が弱い。単語性が強ければaタイプの文も許容度が高くなることは容易に理解されよう。

同じく熟語性が強いものに“头疼”がある。これには生理的に「頭が痛い」という“头疼₁”と、精神的に「頭が痛い=悩みがある」という“头疼₂”を区別できる。例えば、

9) 孩子的事儿, 我很头疼₂, 爱人也很头疼₂。

(子供のことで私は私も頭が痛いし、家内もひどく悩んでいる)

のように、精神的な意味の“头疼₂”では一般に間が割かれない。すなわち次は非文である。

9)' *孩子的事儿, 我很头疼, 爱人头也很疼。

逆に生理的に「頭が痛い」場合は次のように“头”と“疼”の分離が起り得る。

10) 我头很疼, 我爱人头也很疼。

“头疼₁”と“头疼₂”については簡単に次のように言ってよいと思われる。

11) 我头很疼₁。〈生理上〉

12) 我很头疼₂。〈精神上〉

つまり“头疼₂”のほうが一語化しており“头疼₁”はなおフレーズである。従って、

13) 我的头不经常疼。

のような表現では〈生理的〉に頭が痛いという解釈しかあり得ない。

なお、“头疼₂”が単語化していることは次のようにしても確認できる。

14) 很头疼₂

15) *很头疼₁ *很口重 *很嘴快

2.1 前節では典型的な主述語文を見てきた。これらにおいては小主語と呼ばれる NP₂ は大主語と呼ばれる NP₁ に含まれるものであったり、その一部

“也”の位置

であるという意味的關係にある。つまり $NP_1 \supset NP_2$ なる關係がある。ゆえに“ NP_1 的 NP_2 ” のようにして条件 i) ii) の解消が可能なのであった。

しかし中国語では主述述語文の定義は形式重視である。意味的な $NP_1 \supset NP_2$ は必要条件ではない。形式上 $NP_1 + [NP_2 + VP_2]_{VP_1}$ を満たしていればよいとされる。本節では前節と異なるタイプの主述述語文を取りあげ、“也”の挿入位置の違いを検証する。

2.2 まず、次の例は典型的な主述述語文の例である。

16) 小王英语很好。

- a. ?小张也英语很好。
- b. 小张英语也很好。
- c. 小张的英语也很好。

これに対し、次の例は動詞“说”が加わったものである。

17) 小王北京话说得很好。

- a. *小张也北京话说得很好。
- b. 小张北京话也说得很好。
- c. 小张的北京话也说得很好。
- d. 小张北京话说得也很好。

第一に注意すべきは、*a* が完全に非文法的とされる点である。これまでは *a* は「?付き」であり、中国人ネイティブでも話し言葉の中で発話する可能性があり、容認度が高いものであった。“说得”の挿入により *a* は非文となっている。

次に *b*, *c* は文法的に問題はないが、*b* の場合、取り立てられているのは“小张”ではなくて“北京话”であるという語感が強いという。つまり、条件 ii) の通りなのであるが、取り立てが直前の“北京话”に強く拘束され、そこに止ってしまうということは、これまでの *b* タイプと大きく異なる点であり、これも“说得”挿入による変化である。そうであれば、この *b* は語用論的には、次のような対話は成立しないということになる。

17) 小王北京话说得很好。

→*b*. *小张北京话也说得很好。

17) *b* は「小張は（日本語も上手だが）北京語も上手に話す」の意味になって

しまい、話がかみ合わない。

cタイプは“的”によって条件 i) ii) の解消を試みたものであり、これは語用論的にも問題はない。

対話としても文法的にも適格なのは最後の d である。興味深いのは“也”がこの位置にあって、取り立てているのはより近い位置にある“北京話”でなく、第一義的には主語の“小张”であるという事実である³⁾。この理由もさだかではないが、“说得”挿入に関わっていることは確かである。

動詞挿入により、NP₂ “北京話”が今までと異なり、「受け手」という格役割を与えられているが、一般に NP₂ が一定の格を与えられた場合は a タイプは成立しなくなる。

18) 他酒喝了两杯, …。

a. *我也酒喝了两杯, …。

19) 这间屋子我们是用来堆放东西的。

a. *那间屋子也我们是用来堆放东西的。

20) 今天的报我还没看。

a. *昨天的报也我还没看。

18~20) は一応主述述語文と見なされるものだが、いずれも動詞“喝/看/…”があり、典型的な主述述語文が形容詞を VP₂ とするのと異なる。“也”の位置に関してもその詳しい要因分析はおくとして、これまで容認可能性の高かったタイプが非文になるという違いを指摘できる。

3.1 これまでの NP₁+NP₂… といった名詞連鎖とは異なる文、例えば、

我们 | 办手续 | 很麻烦

というような文では“也”の位置はどのようになるのであろうか。上の文で“我们”という NP₁ のあとに続いているのは“办手续”という VP である。

この問題については、既に来・相原1993において、次のような記述が見える。

以下少し長くなるが、本稿の論述の便に合わせ、例文に番号を付し、適宜表現を変えて引用する。(同書, pp. 72—73)

“也”の位置

21) 私も以前こういう事をしたことがわりと多かった。

22) 〈訳〉 *我也以前做这种事比较多。

この誤用例は“也” yě の位置の問題である。既にみたように、中国語の“也”は副詞で、用言（動詞や形容詞）の前に置かなければならない。ところで、誤用例は、

22)' [我] ① [以前做这种事] ② [比较多]
 └──用言──┘ └──用言──┘

のように用言句が2つある。従って、①②の両方の位置が文法的には可能ではなくである。しかるに、この場合は②の位置にしか、“也”は入れることができない。なぜであろうか。

意味的に解釈すれば、この文は次のような内容を表したいのである。

23) 別人做这种事比较多，我跟别人一样，做这种事的情况同样比较多。

(他人がこういう事をするのはわりと多い，私も人と同じで、このような事をする場合が，やはりわりと多い)

より分かりやすく図示すれば、

[別人做这种事] [比较多]

[我做这种事] 同样 [比较多]

ここから、“同样”（同じく）を“也”に変えれば、

24) [我做这种事] 也 [比较多]

となる。

文構造からみれば、この文の述語は“比较多”であり、主語は“我做这种事”の部分である。かつ、この主語部分がさらに[主語+述語]からできている。つまり、

[我 做这种事] [比较多]
 主₂ 述₂
 └──┬──┘ └──┬──┘
 主₁ 述₁

という構造であり、“也”は文の主要述語である〈述₁〉の前に入ることになる。以上から、正しくは――

25) 我以前做这种事也比较多。

この問題をもう少し一般化して考えると、主語が NP+VP からなる文形式の場合は、“也” yě の位置は要注意ということになる。

26) 他 | 在这儿工作 || 比较长

27) 我们 | 以前盖房子 || 比较简单

上の文に“也”を挿入する場合は、いずれも || のところ、つまり主要述語の前であり、| 部のところではない。

28) 他在这儿工作也比较长。(彼もここで仕事をしてわりと長い)

29) 我们以前盖房子也比较简单。

(我々も以前は家を建てるのがわりとやさしかった)

これらの文の日本語訳に注意されたい。いずれも「彼」や「私たち」の後に「も」が入っている。日中両国語における「も」と“也”の違いを示す一例である。

3.2 上の引用の眼目は次の一点である。

「主語が NP+VP からなる文形式の場合は、“也”は主要述語の前に入れよ。」……条件iii)

これを条件 iii) としておくと、この条件は今まで我々が考察してきた文構造とは異質のものを相手にした言表であることに気づく。すなわち、これまでは「述語が NP+VP よりなる文形式」を扱ってきたのであり、対比して示せば、

述語が NP+VP <主述述語文>……A

主語が NP+VP <主述主語文>……B

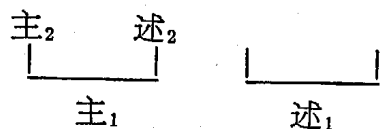
ということになる。

これまでの主述述語文をA型と呼び、前節のような主述主語文をB型と呼ぶと先程の、

30) 我们 | 办手续 | 很麻烦。

はA型であるのかB型であるのか。当然B型であるように思える。つまり、

③ [我们 办手续] [很麻烦]



“也”の位置

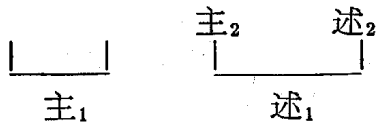
という構造であり、ここに“也”を挿入すれば、条件 iii) により

31) 我们办手续也很麻烦。

となる。これは適格な文である。

ところで 30) はまた次のような構造をしていると仮定できる。

④' [我们] [办手续 很麻烦]



つまり、主述述語文の一種で小主語〈主₂〉が VP (=“办手续”) よりなるものである。もし、そうであるなら、この文の主要述語〈述₁〉の前に“也”を挿入した

32) 我们也办手续很麻烦。

が成立することになる。事実、この 32) は 31) ほど自然ではないが、容認可能性は非常に高い。このような構造をしているものも一種の主述述語文であるから、これをA'型と呼ぼう。

すると、次のような興味深い対比が現われてくる。ここで先程の例文 27) を再録する。

27) 我们以前盖房子比较简单。

この文の“也”挿入テストは次のようになる。

29) a. *我们也以前盖房子比较简单。

b. 我们以前盖房子也比较简单。

同様に、

33) 我们在这儿买东西很方便。

34) a. *我们也在这儿买东西很方便。

b. 我们在这儿买东西也很方便。

どちらも a が非文になってしまう。ここから分かることは、27) 33) は構造的に一義しかない。すなわち B 型〈主述主語文〉ということであり、条件 iii) によって“也”は主要述語の前にしかおけないということである。

それに対して、27) 33) から“以前”や“在这儿”を除去した文では、

- 27)' 我们盖房子比较简单。
a. 我们也盖房子比较简单。
b. 我们盖房子也比较简单。
- 33)' 我们买东西很方便。
a. 我们也买东西很方便。
b. 我们买东西也很方便。

のように *a* は、*b* よりも不自然ではあるが、成立の余地がでてくる。このことは、27)' 33)' が B 型であるばかりか A' 型にも解釈可能だということを物語っている。そして、その条件が“在这儿”や“以前”といった当該 VP の時間的空間的具現化要素の消去であった。このことは“上山容易，下山难”に見られるような、VP が主語となる時の傾向——アスペクト辞がつかず、動作を具体化する要素の修飾を受けず、一種の行為タイプとして提示されるといった傾向に合致するものである。

但し、文によっては構造上の二義性がない。例えば次の 35) は B 型〈主述主語文〉としか解釈できず、*a* タイプは成立しない。

- 35) [他去] 很合适。
a. *他也去很合适。
b. 他去也很合适。

4. 何故“也”は 35) *a* のように主述主語文の主語の中に起こることができないのであろうか。

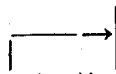
- 35) a. *[他也去] 很合适。

その理由は明らかではないが、筆者は現在のところその要因を「“也”のモダリティ性」に求めたい。モダリティの階層性等の厳密な議論を今は省いて言えば、“也”は後を修飾してゆく時、もしより低いレベルのブラケットがあれば、それを破って中へは入らないが、ブラケットの中からは外へと突き出ると仮定できる。モダリティ性をもつ“也”は常に表層をめざすのである。つまり、


“也”の位置

35) * [他也去] 很适合。

“也”は [] の壁を破り表層にとび出し、後ろにある“很适合”と結びついてしまい非文となる。つまり“也”は [] 内に収まらない。

36)  我也知道 [他来]。

36) が適格なのは、表層にある“也”は後方を修飾するが、よりレベルの低い(目的語を表す) [] の中へは入らず、“也”が“他来”と結びつくことはな
いためと解釈する。

37)  我知道 [他也来]。

37) が適格なのは、“也”は [] の壁を破り表層をめざすが、後ろには何もな
く意味的な混乱は起きないためである。“也”は壁の内から外へととび出すが、
カンマやピリオドは越えない。

33)' a. 我们也买东西很方便。

b. 我们买东西也很方便。

33)' a が 33)' b よりも文法性において劣るのは、以上のブラケット論とは直
接関わらず、例えば既に見た、次のような対比と同趣であると考える。

16) a. ?小张也英语很好。

b. 小张英语也很好。

つまり 33)' a においても“也”の後の“买东西”が〈主₂〉の役割を果してい
るため NP 性を具備し、条件 ii) に抵触しているためと考える。

(1993. 3. 10)

[付記] 本稿は1991年6月29日、大塚漢文学会において口頭発表したものを文章化し
たものである。文章化するにあたっては、発表当時のものに大幅に修正を加えた。ま
た、インフォーマントとして協力してくれた玄宜青、楊凱榮、吳志剛の諸氏に深く感
謝したい。

〈注〉

- 1) 相原1990参照。
- 2) “我也喜欢她”の例において〈“也”管“喜欢”〉の例、つまり「私は彼女を好きでもある」という解釈はあるのかという問題がある。結論から言えばこのような例で〈“也”管“喜欢”〉と解釈される可能性は殆ど無いとしてよい。1)'a や 1)'b と同列に論じられるものではない。但し、“也”が後の述語 VP を取り立てる可能性をゼロとすることはできない。極めて手の込んだ例文を作ることには可能だからである。例えば：我平时很讨厌她，但是有时候也挺喜欢她，因为她虽然有很多缺点，可是……。
- 3) b も d も“也”が取り立てるのは単純に単一の NP ではなく、どちらも二義性があると考えるべきである。ここではどの NP を第一義的に取り立てるかという面から議論している。

〈参考文献〉

- 邵敬敏1990 〈副詞在句法結構中的語義指向初探〉《漢語論叢》華東師範大学中文系
朱德熙1985 《語法問答》商務印書館
相原茂1990 〈副詞の意味指向〉『中国語』No. 370 (11月号) 内山書店
来思平・相原茂1993 『日本人の中国語——誤用例54例』(喜多山幸子編訳) 東方書店